

追加・見直しを行った客観指標【政策】

政策 番号	政策分野	2 8 年度					2 7 年度				
		指標名	目標値	目標値根拠	単年度 目標値	単年度 目標根拠	指標名	目標値	目標値根拠	単年度 目標値	単年度 目標根拠
1 「京プラン 実施計画 第2ステージ」策定に伴い追加・見直しを行ったもの											
4	市民生活と コミュニティ	自治会等加入率(%)	77	「はばたけ未来へ！京 プラン」実施計画第2ス テージ	73.3	平成32年度目標値達 成のため、当該年度達 成すべき数値	自治会等加入率(%)	80	平成22年度が69.8%で あり、32年度に80%(年 1%増)にすることを目標 とする。	73.8	平成32年度目標値達 成のため、当該年度達 成すべき数値
6	文化	京都市芸術文化特別 奨励制度応募者数 (件)	82	「はばたけ未来へ！京 プラン」実施計画第2ス テージ	82	平成24年度～26年度 実績の平均値	京都市芸術文化特別 奨励制度応募者数 (件)	—	平成27年度～平成31 年度実績の最高値を目 指す	85	過去5年間(平成21～ 25年度)の最高値(平成 21,25年度)
19	生涯学習	京都市図書館入館者 数(万人)	431.5	「はばたけ未来へ！京 プラン」実施計画第2ス テージ	422.6	平成32年度目標値達 成のため、当該年度達 成すべき数値	京都市図書館入館者 数(万人)	450	21年度実績430万人か らの20万人増の450万 人	437.7	平成32年度までに21年 度実績から入館者数を 20万人増すために当 年度達成すべき数値
21	土地利用と 都市機能 配置	交通拠点周辺の集客的 土地利用の割合(%)	29.3	「はばたけ未来へ！京 プラン」実施計画第2ス テージ	28.8	平成32年度目標値達 成のため、当該年度達 成すべき数値	交通拠点周辺の集客的 土地利用の割合(%)	29.0	原則、平成17年度の現 況値28.4%を維持す る。	28.7	原則、平成17年度の現 況値28.4%を維持す る。
24	住宅	耐震化、バリアフリー化 又は省エネ化による固 定資産税の減額を受け た件数(件)	250	「はばたけ未来へ！京 プラン」実施計画第2ス テージ	—	—	耐震化、バリアフリー化 又は省エネ化による固 定資産税の減額を受け た件数(件)	—	—	135	中長期目標を達成する ために当年度達成すべ き数値
2 新たに策定・改定した分野別計画の目標に併せて追加・見直したもの											
7	スポーツ	市内で直接スポーツを 観戦した市民の割合 (%)	50%以上	京都市市民スポーツ振 興計画(中間見直し後)	37.2	22年度現況値(24.4%)と 32年度目標値から当該 年度達成すべき数字を 等差的に算出	市内でプロスポーツや トップスポーツを直接観 戦した市民の割合(%)	30%以上	京都市市民スポーツ振 興計画	26.6	22年度現況値(24.4%)と 32年度目標値から当該 年度達成すべき数字を 等比的に算出
3 より適切に評価するために追加・見直したもの											
13	子育て支援	妊娠11週以下での妊 娠の届出率	100.0%	本市で設定した目標値	100.0%	本市で設定した目標値	周産期死亡率(人(出 産数千人当たり))	—	—	3.4	過去5年間の周産期死 亡率(確定値)の最低値 を目標とする。
4 目標達成に伴い、指標の目標値を見直したもの											
3	青少年の成 長と参加	自立に向け改善した青 少年の割合(%)	70	これまでの実績値のうち 平成25年度の最高値 (70%)を数値目標として 設定	70	これまでの実績値のうち 平成25年度の最高値 (70%)を数値目標として 設定	自立に向け改善した青 少年の割合(%)	30	若者サポートステーショ ンの厚生労働省の基準 値を参考に、支援対象 者の属性を踏まえて設 定した数値目標	30	若者サポートステーショ ンの厚生労働省の基準 値を参考に、支援対象 者の属性を踏まえて設 定した数値目標

	政策 番号	政策分野	2 8 年度					2 7 年度				
			指標名	目標値	目標値根拠	単年度 目標値	単年度 目標根拠	指標名	目標値	目標値根拠	単年度 目標値	単年度 目標根拠
	5	市民生活の 安全	犯罪発生(刑法犯)認 知件数(件)	15,000	刑法犯認知件数の減少 傾向を踏まえ、ピーク時 の平成16年(42,395件) から約65%の減少を目 指す。	23,561	平成16年現況値 (42,395件)から当年目 標値達成のため、当年 度達成すべき数値	犯罪発生(刑法犯)認 知件数(件)	20,000件 台半ば	昭和61年から平成7年 までの比較的犯罪情勢 が安定していた10年間 の水準を目指す(平成 26年度に達成し、その 後は水準維持)。	25,000件 程度	平成20年度現況値 (32,598件)から平成26 年度目標値達成のため、 当年度達成すべき 数値
	22	景観	三山森林景観保全・再 生ガイドラインに基づく 森林整備面積(ha)	286	歴史的風土特別保存 地区の指定面積約 2,861haの約10%に相 当する面積を目標値と する。	217	平成32年度目標値達 成のため、当該年度達 成すべき数値	三山森林景観保全・再 生ガイドラインに基づく 森林整備面積(ha)	140	歴史的風土特別保存 地区の指定面積約 2,861haの約5%に相当 する面積を目標値とす る。	14	歴史的風土特別保存 地区の指定面積約 2,861haの約5%に相 当する面積を10年間で 取組む。
	27	くらしの水	平成16年記録的豪雨 時の河川浸水被害箇所 解消率(%)	100	100%の達成を目指 す。	91.1	中長期目標までの残年 数内に目標を達成する ために当該年度に達成 すべき数値	平成16年記録的豪雨 時の河川浸水被害箇所 解消率(%)	88.3	平成16年度浸水被害 発生河川における当該 年度の目標改修率	88.3	平成16年度浸水被害 発生河川における当該 年度の目標改修率

追加・見直しを行った客観指標【施策】

	施策 番号	政策分野	2 8年度					2 7年度				
			指標名	目標値	目標値根拠	中長期 目標値	中長期 目標根拠	指標名	目標値	目標値根拠	中長期 目標値	中長期 目標根拠
1 「京プラン 実施計画 第2ステージ」策定に伴い追加・見直しを行ったもの												
102	環境	「DO YOU KYOTO？」 関連イベント参加者数 (人)	813,000	平成32年度の数値目標 達成のために当年度達 成すべき数値	910,000	「はばたけ未来へ！京 プラン」実施計画第2ス テージ	「DO YOU KYOT O？」関連事業協力団 体数(社)	300	平成32年度の数値目標 (450)達成のために当 年度達成すべき数値	450	事業課にて設定	
604	文化	“京都を彩る建物や庭 園”選定件数(件)	280	平成32年度目標値から 各年度の目標を等差的 に設定	500	「はばたけ未来へ！京 プラン」実施計画第2ス テージ	“京都を彩る建物や庭 園”選定件数(件)	100	取組初年度(23年度) は70件、以降、平成27 年度まで毎年約100件 の選定を目指す(「はば たけ未来へ！京プラン」 実施計画)	470	「はばたけ未来へ！ 京 プラン」実施計画	
806	産業・商業	「これからの1000年を紡 ぐ企業認定」による認定 企業数(社)	－	平成32年度目標値を達 成するために、当該年 度達成すべき数値	25社	「はばたけ未来へ！京 プラン」実施計画第2ス テージ	－	－	－	－	－	
901	観光	マイカー入洛率(%)	8.9	前年からの改善。ただ し、「京プラン実施計画 第2ステージ」に掲げる 目標値(8%台=8.9%)を 超えないものとする。	8%台	「はばたけ未来へ！京 プラン」実施計画第2ス テージ	マイカー入洛率(%)	15.1	前年度からの改善	－	－	
1102	大学	市内大学等の留学生数 (人)	8,185	平成32年度目標値から 各年度の目標を等差的 に設定	15,000人	「はばたけ未来へ！京 プラン」実施計画第2ス テージ	市内大学等の留学生数 (人)	8,150	平成21年度現況値 (5,065人)と中長期目 標から各年度の目標を 等差的に設定	10,000人	京都市国際化推進プラ ン (プラン策定時から倍 増)	
1203	国際化	留学生数(人)	8,185	平成32年度目標値から 各年度の目標を等差的 に設定	15,000人	「はばたけ未来へ！京 プラン」実施計画第2ス テージ	留学生数(人)	8,150	平成21年度現況値 (5,065人)と中長期目 標から各年度の目標を 等差的に設定(617人増 加)	10,000人	京都市国際化推進プラ ン (プラン策定時から倍 増)	
1301	子育て支援	スマートフォンアプリ(京 都はぐくみアプリ)の Webアクセス数(件)	218,000	「京プラン実施計画 第 2ステージ」(年次計画 書)で掲げる平成32年 度までの目標数値 (218,000件)を目標値 に設定する。	218,000	「はばたけ未来へ！京 プラン」実施計画第2ス テージ	スマートフォンアプリ(京 都はぐくみアプリ)の Webアクセス数(件)	-	平成27年度の目標値 は24万件(平成27年4 月実績値が約2万件の ため)に設定	－	－	

施策 番号	政策分野	2 8 年度					2 7 年度				
		指標名	目標値	目標値根拠	中長期 目標値	中長期 目標根拠	指標名	目標値	目標値根拠	中長期 目標値	中長期 目標根拠
1301	子育て支援	地域子育て支援ステーション事業基幹ステーション実施学区数(学区)	—	—	146	「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画第2ステージ	子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)実施箇所数(箇所)	35	平成21年度現況値(20箇所)と平成26年度目標値から、各年度の目標を等差的に算出	35	京都市未来こどもプラン
1303	子育て支援	ひとり親家庭支援センター利用者数(人)	2,230	中長期目標の達成に向け、当該年度に達成すべき数値	2,518	「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画第2ステージ	ひとり親家庭支援センター利用者数(人)	2,030	過去5年間の最高値	—	—
1403	障害者福祉	総合支援学校高等部職場実習の受入企業・事業所数(社)	268	平成32年度の目標値達成のため、当該年度達成すべき数値	300	「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画第2ステージ	総合支援学校高等部生徒の企業等実習回数(回)	644	平成32年度の目標値達成のため、当該年度達成すべき数値	800	平成32年度の総合支援学校高等部生徒の企業等実習回数を、平成22年度実績値(540回)の50%増の800回とする
1404	障害者福祉	市民向け印刷物の情報保障配慮率(%)	72	平成32年度末までに100%の目標達成のために当該年度達成すべき数値(累計)	100	「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画第2ステージ	市民向け印刷物の情報保障配慮率(%)	90	平成27年度目標値を達成するために当該年度達成すべき数値	100	各局区等から発行する10,000部以上の全ての広報印刷物において、何らかの情報保障の配慮を行う
1602	高齢者福祉	高齢者の居場所設置数(箇所)	263	「京プラン実施計画 第2ステージ」に掲げる当該年度の目標値	400	「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画第2ステージ	高齢者の居場所設置数(箇所)	222	「第5期京都市民長寿すこやかプラン」に掲げる当該年度の目標値	222	第5期京都市民長寿すこやかプラン
1703	保健衛生・医療	参加型リスクコミュニケーション事業への参加者数(人)	—	平成32年度目標値の達成に向け、中長期目標から各年度の目標を等差的に設定	400	「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画第2ステージ	京・食の安全衛生管理認証制度認証数(件)	274	中長期目標のために当該年度達成すべき数値	324	食の安全安心推進計画
1801	学校教育	総合支援学校高等部職場実習の受入企業・事業所数(社)	268	平成32年度の目標値達成のため、当該年度に達成すべき数値	300	「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画第2ステージ	総合支援学校高等部生徒の企業等実習回数(回)	644	平成32年度の目標値達成のため、当該年度達成すべき数値	800	平成32年度の総合支援学校高等部生徒の企業等実習回数を、平成22年度時点(540回)の50%増の800回とする。
1802	学校教育	通級による専門的な指導を受けているLD等の発達障害のある児童生徒数(人)	430	平成32年度の目標値達成のため、当該年度に達成すべき数値	900	「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画第2ステージ	通級による専門的な指導を受けているLD等の発達障害のある児童生徒数(人)	411	平成32年度の目標値達成のため、当該年度に達成すべき数値	500	22年度設置校数及び指導人数から、ことばとこえの教室の併用化、LD等非常勤講師の活用及び国からの教員定数加配等の予定を勘案して算出

	施策 番号	政策分野	2 8 年度					2 7 年度				
			指標名	目標値	目標値根拠	中長期 目標値	中長期 目標根拠	指標名	目標値	目標値根拠	中長期 目標値	中長期 目標根拠
	1802	学校教育	「学校の規則を守っている」と肯定的に回答する児童生徒の割合(%)	94.4	前年度の全国平均値	—	「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画第2ステージ	非行防止教室の実施率(%)	100	平成27年度までに全市立小・中・高等学校で実施するために、当該年度に達成すべき割合	100	全市立小・中・高等学校での実施
	1804	学校教育	大規模整備事業実施校数(件)	10	平成32年度までに60件の整備を行うために、27年度、達成すべき数値	60	「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画第2ステージ	エコ改修・バリアフリー等新しい学習環境づくりのための施設整備を行った件数(件)	8	平成32年度までに80件の整備を行うために、毎年度、達成すべき数値	80	平成32年度までに80件の整備を行うこととする。
	2101	土地利用と都市機能配置	交通拠点周辺の集客的土地利用の割合(%)	28.8	平成32年度に29.3%になることを目指して設定	29.3	「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画第2ステージ	交通拠点周辺の集客的土地利用の割合(%)	28.7	原則、平成17年度の現況値28.4%を維持することとし、その数値を上回るよう努力する。	28.7	平成32年度に29%となることを目指して設定
	2203	景観	地域の景観を形成する核となる建造物等の指定数(件)	112	中長期目標を達成するために当年度達成すべき数値	180件	「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画第2ステージ	地域の景観を形成する核となる建造物等の指定数(件)	30	中長期目標を達成するために当年度達成すべき数値	349件	景観重要建築物の指定候補数が約600件あり、平成23年度からの10年間でこの半分の指定を目標とする。
	2205	景観	景観づくりに取り組む地域数(件)	8	中長期目標を達成するために当年度達成すべき数値	14	「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画第2ステージ	景観づくりに取り組む地域数(件)	5	中長期目標を達成するために当年度達成すべき数値	50件	都心4行政区(上・中・下・東山)での元学区の半分と、その他の行政区毎に2地区程度で約50件を10年間で取り組む。
	2401	住宅	一般型及び伝統型の平成の京町家の認定件数(戸)	60	中長期目標達成のために当年度達成すべき数値	160戸	「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画第2ステージ	平成の京町家累計認定戸数(京都らしい住宅ストックの普及)(戸)	1,500	中長期目標達成のために当年度達成すべき数値	5,200戸	京都市住宅マスタープラン及び「木の文化を大切にするまち・京都」市民会議「平成の京町家」検討プロジェクトチーム検討報告書による。
	2402	住宅	耐震化、バリアフリー化又は省エネ化による固定資産税の減額を受けた件数(件)	—	—	250	「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画第2ステージ	耐震化、バリアフリー化又は省エネ化による固定資産税の減額を受けた件数(件)	135	中長期目標を達成するために当年度達成すべき数値	180件	京都市住宅マスタープランにおけるバリアフリー改修率の目標値への伸び率を参考として約2倍の伸び率と想定
	2404	住宅	耐震化による固定資産税の減額を受けた件数(件)	—	—	85件	「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画第2ステージ	耐震化による固定資産税の減額を受けた件数(件)	82	中長期目標を達成するために当年度達成すべき数値	120件	京都市住宅マスタープランにおけるバリアフリー改修率の目標値への伸び率を参考として約2倍の伸び率と想定

	施策 番号	政策分野	2 8 年度					2 7 年度				
			指標名	目標値	目標値根拠	中長期 目標値	中長期 目標根拠	指標名	目標値	目標値根拠	中長期 目標値	中長期 目標根拠
	2405	住宅	バリアフリー化による固定資産税の減額を受けた件数(件)	—	—	100	「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画第2ステージ	バリアフリー化による固定資産税の減額を受けた件数(件)	17	中長期目標を達成するために当年度達成すべき数値	22件	京都市住宅マスタープランにおけるバリアフリー改修率の目標値への伸び率を参考として約2倍の伸び率と想定
	2707	くらしの水	都市基盤河川改修率(%)	62	都市基盤河川における当該年度の目標改修率	66	「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画第2ステージ	都市基盤河川改修率(%)	61	都市基盤河川における当該年度の目標改修率	—	—
2 新たに策定・改定した分野別計画の目標に併せて追加・見直したもの												
	103	環境	一人一日当たりのごみの排出量(グラム)	836	平成32年度の数値目標達成のために当年度達成すべき数値	730グラム	京都市循環型社会推進基本計画(2015-2020)	一人一日当たりのごみの排出量(グラム)	860	平成32年度の数値目標達成のために当年度達成すべき数値	750グラム	京都市循環型社会推進基本計画(2009-2020)
	103	環境	ごみ焼却量(トン)	42.1万	平成32年度の数値目標達成のために当年度達成すべき数値	35万トン	京都市循環型社会推進基本計画(2015-2020)	再生利用率(%)	24.6	平成32年度の数値目標達成のために当年度達成すべき数値	0.31	京都市循環型社会推進基本計画<2009-2020>
	103	環境	ごみ1トン当たりの発電量(kWh/t)	370	今後の焼却等処理量及び処理施設における技術の発展を踏まえ、平成32年度に目指すべき値(450kWh/t)に対する当年度の計画値	450kWh/t	京都市循環型社会推進基本計画<2015-2020>で掲げるごみ量等の目標数値から設定	ごみ1トン当たりの発電量(kWh/t)	350	今後の焼却等処理量及び処理施設における技術の発展を踏まえ、平成32年度に目指すべき値	440kWh/t	京都市循環型社会推進基本計画<2009-2020>で掲げるごみ量等の目標数値から設定
	303	青少年の成長と参加	ユースアクションプラン認証事業数(件)	179	平成32年度の目標値達成のために当年達成すべき数値(平成32年度の目標値から各年度の目標値を等差的に算出)	190件	「京都市ユースアクションプラン」行動計画改定版	ユースアクションプラン認証事業数(件)	178	平成21年度現況値(117件)から平成32年度の目標値達成のために当年達成すべき数値	180件	1箇月15件
	303	青少年の成長と参加	青少年活動センターにおける地域交流事業数(件)	58	平成32年度の目標値達成のために当年達成すべき数値(平成32年度の目標値から各年度の目標値を等差的に算出)	65件	「京都市ユースアクションプラン」行動計画改定版	青少年活動センターにおける地域交流事業数(件)	53	平成21年度現況値(48件)から平成32年度の目標値達成のために当年達成すべき数値	57件	平成21年度現況値(48件)から2割増し
	807	産業・商業	取扱数量(青果・水産物)(t)	306,000	京都市中央卸売市場第一市場マスタープラン(平成28年度版)目標値より算定	331,000	京都市中央卸売市場第一市場マスタープラン(平成28年度版)目標値	取扱数量(青果)(t)	269,000	京都市中央卸売市場第一市場施設整備基本構想目標値	320,000	京都市中央卸売市場第一市場施設整備基本構想目標値

施策 番号	政策分野	2 8 年 度					2 7 年 度				
		指 標 名	目 標 値	目 標 値 根 拠	中 長 期 目 標 値	中 長 期 目 標 根 拠	指 標 名	目 標 値	目 標 値 根 拠	中 長 期 目 標 値	中 長 期 目 標 根 拠
807	産業・商業	取扱金額(青果・水産物)(百万円)	107,500	京都市中央卸売市場第一市場マスタープラン(平成28年度版)目標値より算定	117,040	京都市中央卸売市場第一市場マスタープラン(平成28年度版)目標値	取扱金額(水産物)(百万円)	41,500	京都市中央卸売市場第一市場施設整備基本構想目標値	50,000	京都市中央卸売市場第一市場施設整備基本構想目標値
1303	子育て支援	時間外保育事業利用児童数(人日)	627,152	京都市未来こどもはぐくみプランに掲げた地域的なバランスを考慮した提供体制を確保するための当該年度の目標値	849,608	京都市未来こどもはぐくみプラン	延長保育実施箇所数(夜間延長保育を含む)(箇所)	195	平成21年度現況値(179箇所)と平成26年度目標値から、各年度の目標を等差的に算出	195	京都市未来こどもプラン
1303	子育て支援	一時預かり事業利用児童数(人日)	41,005	京都市未来こどもはぐくみプランに掲げた地域的なバランスを考慮した提供体制を確保するための当該年度の目標値	49,736	京都市未来こどもはぐくみプラン	一時保育実施箇所数(箇所)	50	平成21年度現況値(42箇所)と平成26年度目標値から、各年度の目標を等差的に算出	50	京都市未来こどもプラン
1303	子育て支援	病児・病後児保育事業利用児童数(人日)	3,952	京都市未来こどもはぐくみプランに掲げた地域的なバランスを考慮した提供体制を確保するための当該年度の目標値	6,847	京都市未来こどもはぐくみプラン	休日保育実施箇所数(箇所)	7	平成21年度現況値(5箇所)と平成26年度目標値から、各年度の目標を算出	7	京都市未来こどもプラン
1602	高齢者福祉	介護予防事業参加者数(人)	2,520	「第6期京都市民長寿すこやかプラン」に掲げる当該年度の参加者数見込値	2,737	第6期京都市民長寿すこやかプラン	介護予防事業参加者数(人)	2,026	「第5期京都市民長寿すこやかプラン」に掲げる当該年度の目標値	2,026	第5期京都市民長寿すこやかプラン
1604	高齢者福祉	地域密着型サービス事業所整備定員数(人分)	2,065	平成29年度までに目標を達成するために当該年度達成すべき数値	2,299	第6期京都市民長寿すこやかプラン	地域密着型サービス事業所整備定員数(人分)	270人分増	京都市民長寿すこやかプランに掲げた26年度目標数(1,756人分)と25年度目標数(1,486人分)の差	—	—
1604	高齢者福祉	特別養護老人ホームの入所施設整備定員数(人分)	5,783	京都市民長寿すこやかプランの平成27年度目標値(5,783人)から平成26年度目標値(5,536人)を差し引いて算出	6,105	第6期京都市民長寿すこやかプラン	特別養護老人ホームの入所施設整備定員数(人分)	303人分増	京都市民長寿すこやかプランの平成26年度目標値(5,536人)から平成25年度目標値(5,233人)を差し引いて算出	—	—
2305	建築物	市有建築物の耐震化率(%)	95	京都市建築物耐震改修促進計画に掲げる目標値	95%	京都市建築物耐震改修促進計画(～37年度)	市有建築物の耐震化率(%)	86	中長期目標を達成するために定めた単年度目標値(前年度目標値から毎年度3%増加)	90%	京都市建築物耐震改修促進計画(～27年度)

3 より適切に評価するために追加・見直したもの

201	人権・男女共同参画	人権文化の構築に関わる取組として全庁で実施する新規及び改善等の事業数(件)	24	過去5年間(平成22～26年度)の新規及び改善等の事業数の平均値を基に当年度実施すべき新規及び改善等の事業数を設定	—	—	人権文化の構築に関わる取組として全庁で実施する新規事業の数(件)	8	過去5年間(平成21～25年度)の新規事業数の平均(8.0)を基に今年度実施すべき新規事業数を設定	—	—
-----	-----------	---------------------------------------	----	---	---	---	----------------------------------	---	---	---	---

施策 番号	政策分野	2 8 年度					2 7 年度				
		指標名	目標値	目標値根拠	中長期 目標値	中長期 目標根拠	指標名	目標値	目標値根拠	中長期 目標値	中長期 目標根拠
602	文化	東山アーティスト・プレ イメント・サービスへの 相談件数	367	過去3年間(平成24～26 年度)の最高値(平成26 年度)	—	—	—	—	—	—	—
1402	障害者福祉	居宅介護等の利用時間 数(時間)	182,826	京都市障害福祉計画を 実現するために必要と なる時間数の見込み	—	—	居宅介護等の利用時間 数(時間)	113,000	平成21年度現況値 (91,932)を基に、今後 の各年度推計利用者数 の伸び率を乗じて算出	—	—
2005	歩くまち	鉄道駅周辺における駐 輪場の整備状況(台)	50,941台	23年度～25年度実績の 平均値	58,616	23～25年度実績の平均 値(1,535台)を毎年度 達成した場合の累計値	鉄道駅周辺における駐 輪場の整備状況(台)	1,535台増	過去3年間の実績値の 平均値	—	—
2502	道と緑	緑化助成面積(m ²)	6,000	中長期目標と同様	6,000	第1次京のみどり推進プ ランに記載された目標 値	緑化助成面積(m ²)	847m ² 増	中長期目標までの残年 数内に目標を達成する ために当該年度に達成 すべき数値	6,000	第1次京のみどり推進 プランに記載された目 標値
2502	道と緑	まちなかの花壇の設置 地区数(スポンサー花 壇)(地区)	10	中長期目標と同様	10	目標(平成32年度に10 地区)達成に向け、設 置方法等を確立しモデ ル地区を設けて実施	まちなかの花壇の設置 地区数(スポンサー花 壇)(地区)	1地区増	目標達成のために当 年度達成すべき数値	10	目標(平成32年度に10 地区)達成に向け、設 置方法等を確立しモデ ル地区を設けて実施
2502	道と緑	街路樹の総本数(本)	1,006,420	中長期目標と同様	1,006,420	平成21年度から 100,000本増加させる	街路樹の総本数(本)	10,000本増	中長期目標までの残年 数内に目標を達成する ために当該年度に達成 すべき数値	100,000本増	平成21年度から 100,000本増加させる
2502	道と緑	市民公募型緑化推進 事業による植樹本数 (本)	500	中長期目標と同様	500本	第1次京のみどり推進プ ランに記載された目標 値	市民公募型緑化推進 事業による植樹本数 (本)	61本増	中長期目標までの残年 数内に目標を達成する ために当該年度に達成 すべき数値	500本	第1次京のみどり推進 プランに記載された目 標値
2502	道と緑	記念植樹奨励事業によ る植樹本数(本)	120	中長期目標と同様	120本	第1次京のみどり推進プ ランに記載された目標 値	記念植樹奨励事業によ る植樹本数(本)	18本増	中長期目標までの残年 数内に目標を達成する ために当該年度に達成 すべき数値	120本	第1次京のみどり推進 プランに記載された目 標値
2604	消防・防災	学区の中核となる市立 小・中学校等に備蓄倉 庫を配備する自主防災 会数(自主防災会)	117	平成32年度の目標値 (227自主防災会)を達 成するために、当該年 度達成すべき数値	227	全自主防災会	—	—	—	—	—

4 目標達成に伴い、指標の目標値を見直したもの

501	市民生活の 安全	交通事故による死傷者 数(人)	8,950人以下	第2次生活安全基本計 画における平成22年の 目標値(12,000人以下) と京プラン実施計画第2 ステージにおける平成 32年の目標値(5,900人 以下)から、各年度の目 標を等差的に算出	5,900人以下	第2次生活安全基本計 画及び京プラン実施計 画第2ステージ	交通事故による死傷者 数(人)	10,560人以下	平成22年の目標値(12 千人以下)と、平成32年 の目標値(8,400人以下) から、各年度の目標 を等差的に算出	8,400人以下	第2次生活安全基本計 画
-----	-------------	--------------------	----------	---	----------	-------------------------------------	--------------------	-----------	--	----------	-----------------

	施策 番号	政策分野	2 8 年度					2 7 年度				
			指標名	目標値	目標値根拠	中長期 目標値	中長期 目標根拠	指標名	目標値	目標値根拠	中長期 目標値	中長期 目標根拠
	1305	子育て支援	中高生と赤ちゃんとの 交流事業参加人数 (人)	14,601	過去5年間の最高値	—	—	中高生と赤ちゃんとの 交流事業実施箇所数 (箇所)	50	「京都市未来こどもプラン」 達成のために当年度 達成すべき数値	50	京都市未来こどもプラン
	1801	学校教育	コミュニティ・スクールなど 開かれた学校づくりを 推進する学校・幼稚園 の割合(%)	86.4	中長期目標の達成のため、 当該年度に設置すべき 学校の割合	93	全小学校への設置完了 に続き、70中学校への 設置を目標とする。	コミュニティ・スクールなど 開かれた学校づくりを 推進する小中学校の割合 (%)	76.9	中長期目標の達成のため、 当該年度に設置すべき 学校の割合	80	8割の学校での設置を 目標とする。
	2604	消防・防災	避難所運営マニュアル に基づく避難所運営訓練 実施済みの避難所数 (箇所)	256	平成32年度の目標値 (全423箇所)を達成する ために、当該年度達成 すべき数値	423	全避難箇所	避難所運営マニュアル 作成済み避難所数(箇所)	238	平成32年度の目標値 (431箇所)を達成する ために、当該年度達成 すべき数値	—	—
	2706	くらしの水	平成16年記録的豪雨 時の河川浸水被害箇所 解消率(%)	91.1	中長期目標までの残年 数内に目標を達成する ために当該年度に達成 すべき数値	100	平成16年度浸水被害 発生河川における中長期 目標年度の目標改修率	平成16年記録的豪雨 時の河川浸水被害箇所 解消率(%)	88.3	平成16年度浸水被害 発生河川における当該 年度の目標改修率	88.3	平成16年度浸水被害 発生河川における中長期 目標年度の目標改修率